



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)

佐野市のスマート  
シティ構想について



**Q** 感染症や自然災害に強い次の時代の地域経済や、新しい生活様式に向けた改革の推進力となる佐野市版スマートシティの実現に向けた市長の決意とビジョンを伺いたい。

**A** 市長

新型コロナウイルスの影響による経済活動の急激な収縮や、一昨年の東日本台風に代表される災害リスク、少子高齢化や人口減少といった本市が抱える地域課題に的確に対応するために、佐野市スマートシティ構想を実現したいと考えています。具体的には、市民の安全安心、市民の健康増進、市民主導型の効率的な行政運営を3つの柱に掲げ、総合計画中期基本計画にも位置づけることで、将来にわたり持続可能な佐野市づくりにつなげていきたいと考えています。



亀山 春夫 議員(政友みらい)

渡戸橋について



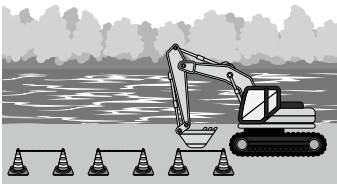
**Q** 渡戸橋の災害復旧について、工事施工業者がなかなか決まらないということを知っている。現在までの経過、進行状況及び早期工事完了に向けた市の考えを伺いたい。

**A** 都市建設部長

渡戸橋の災害復旧については、令和2年9月と11月の2回入札を行いました。建設業者が多く、災害復旧工事を現在実施中であり、技術者が不足していることから、入札不調となっていました。橋りょうの工事は、河川の水量が少ない11月から5月末までの渇水期に行うよう河川管理者の栃木県から指導されていることから、現在、令和3年度に改めて発注する準備をしているところ。令和3年度の渇水期になり次第、速やかに工事着手できると考えています。早期に入札を実施して、施工業者を決定したいと考えています。

その他の質問

☆ICT技術を活用した電子投票について



木村 久雄 議員(公明党議員会)

GIGAスクール  
構想について



**Q** ICTリテラシーは、高度情報化、グローバル化が進展する現代社会に必要な資質、能力といえる。GIGAスクール構想を推進していく上で、ICTリテラシーをいかにして涵養するかが重要な課題となるが、ICTリテラシーに関する指導についてどのように考えているか。

**A** 教育長

ICTリテラシーに関しての指導は重要であると考えています。また、新学習指導要領にも情報活用能力を、言語能力と同様に学習の基礎となる資質、能力と位置づけています。現在の学校では、情報の収集、活用に関することや情報モラル、プログラミング等について指導しており、今後は1人1台の端末整備によって、児童生徒が実際に端末を操作しながら、日常的、主体的にリテラシーを学ぶことができるようになるかと考えています。

その他の質問

☆読書環境の整備について

